TOKYO PACK 2024
新企画

「Packaging Academia」発表者募集のご案内

包装の最新情報が一堂に集まる国際包装展「TOKYO PACK 2024」では、「包装」をテーマとする産学連携のコミュニティ「Packaging Academia」を開設します。

大学等教育機関が持つ最先端の技術・情報等のシーズと、来場者のニーズを掛け合わせ、包装産業の一層の活性化を促進することを目的に、産学連携によるイノベーションに結びつけます。

下記発表テーマに関する発表者を募集しております。別頁の応募要項をご参照のうえ、皆様のエントリーをお待ちしております。

TOKYO PACK 2024 概要

と　き 10月23日(水)～25日(金)3日間 10:00～17:00

ところ 東京ビッグサイト　東ホール

主　催 公益社団法人日本包装技術協会

後　援 経済産業省　他

発表料 無料(応募要項をご覧ください)

定　数 20テーマ

応 募 要 項

発表募集テーマ ① 世界が驚く「環境×包装」イノベーション

注目テーマ：サーキュラーエコノミー / 持続可能な社会の実現に資する包装技術 / 資源循環に資する包装技術、脱ワンウェイ / 温室ガス抑制（紙化・バイオマス）/ 包装の小型化・薄肉化・単純化 / マテリアルリサイクル（モノマテリアル、複合材料分離）/ ケミカルリサイクル / 管理手法としてのブロックチェーン、マスバランスなど

サステナブルな社会の実現には、サーキュラーエコノミーとカーボンニュートラルを一体的に進める必要があり、その解決策として3Rに加え「Renewable」(再生可能な原料を使用する)の推進が求められています。また同時に、海洋プラスチック問題の解決に資する資源の循環に配慮した設計を加速させ、必要な情報流通の基盤を構築し、動脈側と静脈側の新たな施策によるライフサイクル全体の連携強化も求められています。

発表募集テーマ ② 世界が驚く「機能×包装」イノベーション

注目テーマ：食品ロス・ロングライフ / 鮮度・品質保持 / 表面処理 / 加工技術 / 加飾技術 / 設計技術等

国連によると、世界で生み出される食糧の3分の1は廃棄されているといわれています。増加していく世界人口、そしてSDGsのテーマでもある持続可能な世界を考えた時、限りある食材や食品を無駄なく使うことは、世界共通の課題であり、包装はその食品ロスの削減に大きな役割を果たすことになります。また、包装は使用者にとって使い勝手や五感に訴えかける重要な機能として、よりおいしく、より簡単に、より安全に、より便利に、といったユーザビリティ向上への配慮も求められています。

発表募集テーマ ③ 世界が驚く「次世代技術×包装」イノベーション

注目テーマ：AI / IoT / ロボティクス / デジタル化 / 設計技術 / 自動化(省力化・省人化) / RFIDなどの導入による技術革新

日本では高齢化社会が進み、生産労働人口の減少が危惧される中、包装や物流の現場でもこれに対応する労働力の確保が深刻化しています。このような背景から昨今ではEコマースの伸展やSKUの増大等による管理コストや作業コスト削減のため、自動化やデジタル化へのニーズに拍車がかかっています。また、消費者の環境意識が高まったことで製品や包装に対し期待する声として、包装の機能を犠牲にすることなく、持続可能なマテリアルで、これら変化する流通環境から適切に製品を保護できる包装を実現できる設計技術の開発も求められています。こうしたニーズに応え、更なる生産性向上を図るためには、次世代技術の導入による技術革新が不可欠です。

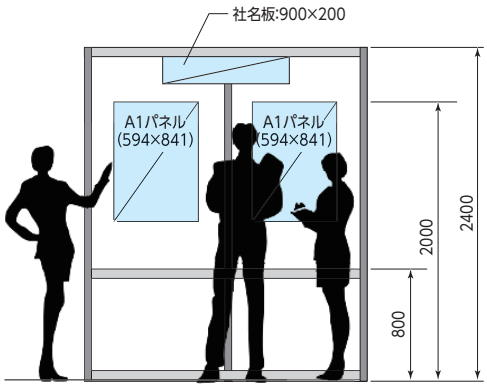
発表募集テーマ ④ 世界が驚く「印刷・表示技術×包装」イノベーション

注目テーマ：最新印刷技術(オンデマンド(デジタル)、オフセット、グラビア、フレキソ、スクリーン等) / インクの技術革新 / 3D技術

包装の重要な役割である「情報伝達」。内容物や取り扱いなどの情報を伝える機能に加え、販売促進、店頭訴求といった役割や、近年、特に軟包装業界で需要が高まる少量多品種生産、フィルムなどの資材ロス・余剰在庫の削減による環境負荷低減へのニーズ、そしてインクによる新しい可能性(表現、機能、環境負荷低減)の実現などにも印刷技術は包装に大きく貢献しております。その一方でラベルレスやUVレーザー印字など、インクやラベルも使わずプラスチックの使用を削減し、よりリサイクル性に優れた表示技術も開発され、容器包装への応用も進んでいます。

◆小間仕様

小間サイズ：W1,980mm×D495mm×H2,400mm
基本備品：スポットライト1灯/社名板/椅子×1/
展示台（W1,980㎜×D495㎜×H800㎜）×1
2口電源コンセント×1個・背面ボードには、
A0 ポスター2枚程度の掲示が可能です。



◆小間位置の決定

⑴小間位置に関しては会場ゾーニングや発表内容等を考慮して、主催者が決定します。
⑵小間位置の決定後、展示効果の向上のために事務局側で小間図面の変更、小間の再配置を行うことがありますので、あらかじめご了承ください。
⑶発表者は小間位置の決定に対する不服申立て並びに小間位置の変更に対する不服申立て及び賠償請求は行えないものとします。
⑷発表者は、小間の全部又は一部を第三者に転貸、売買、交換、又は譲渡することはできません。
⑸産学連携を目的とした主催者企画のため、販売・営業行為などは一切できませんこと、あらかじめご了承ください。

◆応募要項

①1機関につきエントリー数の上限は2テーマまでとなります。
その他、次の発表要件をご確認ください。
1)産学連携活動による研究成果・特許技術の技術移転を目指す大学等教育機関(※)であること。
※「大学等教育機関」とは、大学、短期大学、高等専門学校のことをさします。
2)発表に際しては、発表者の所属する機関による産学連携への支援・協力体制があることを前提とします。応募に際しては、あらかじめ所属機関からエントリーの了解が得られており、かつ発表の際には同機関によるサポートが得られることが前提となります。
3)発表者は日本国内に居住し、かつ日本国内の大学等教育機関に所属していること。
4)発表者が、会期中の3日間（終日）とも説明者として本展に参加できること。
5)発表料は無料ですが、上記基本備品以外の備品、発表者らの交通費及び展示物の運搬費等については発表者負担となります。
6)一人の代表研究者が複数のエントリーを行なうことはできません。
7)発表にあたって研究成果となる展示物（展示パネル、パンフレット、ディスプレイ等）があること。展示物については、展示ブース内に納まるようにしてください。なお、危険物に関しては持ち込み禁止となります。
8)出展確定後のキャンセルはできません。
9)個人情報の取扱いなどについては、各大学等教育機関のプライバシーポリシーに準じます。

②発表エントリー方法
「Packaging　Academiaエントリーシート」から必要事項を記載の上、e-mail添付にて下記事務局まで送付ください。

TOKYO PACK 2024 事務局行き　e-mail:suzuki2304@jpi.or.jp
【募集期間：2024年2月1日（木）～3月29日（金）】

③審査の採用通知 出展の可否について
募集要件を満たすことを前提にエントリー情報をもとに、総合的に審査のうえ決定します。採用通知は4月下旬頃、ご担当窓口の方へお知らせいたします。

Packaging Academia エントリーシート

TOKYO PACK 2024 事務局行き　e-mail:suzuki2304@jpi.or.jp

①大学等教育機関名 （研究室名称まで含む） ※こちらの情報はWEB・来場案内・社名版などに公開されます。	フリガナ	
	和　文	
	英　文	
		※大文字・小文字表記に御社取決めある場合は、略さず記載ください。本書記載の内容で、英文作成します。
②発表テーマ 30字程 ※こちらの情報はWEB・来場案内などに公開されます。	発表募集テーマ番号	①世界が驚く「環境×包装」イノベーション ②世界が驚く「機能×包装」イノベーション ③世界が驚く「次世代技術×包装」イノベーション ④世界が驚く「印刷・表示技術×包装」イノベーション
	和　文	
	英　文	
③発表要旨 300字 ※こちらの情報はWEBなどに公開されます。		
④ご担当窓口	氏　　名	
	ご所属・役職	
	住　　所	〒
	連 絡 先	TEL
		E-mail
⑤コンタクト先 ※こちらの情報はWEBなどに公開されます。		（例：氏名、住所、電話番号、メールアドレス等）　☐ 同上

※当協会は個人情報の保護に努めております。
詳細は当協会ホームページ(https://www.jpi.or.jp/kojinhogo/kojinhogo.htm)をご覧ください。
※①～③、⑤の情報は審査の採用結果に関係なく、公開に同意したものとします。